

Caring



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

コンシューマー カンパニー TEL 03・4411・7100 (代表)

メディカル カンパニー TEL 03・4411・7200 (代表)

ビジョンケア カンパニー TEL 03・4411・7500 (代表)

<http://www.jnj.co.jp>

販促品コード MDC005

2019年4月改訂 第5版 ©Johnson & Johnson K.K. 2019
管理番号:112363-190419

Johnson & Johnson

JOHNSON & JOHNSON K.K.

Caring for the world, one person at a time...
inspires and unites the people of
Johnson & Johnson.

世界中の人々をケアすること——これが私たちジョンソン・エンド・ジョンソン ファミリーカンパニーの原点です。
革新的な製品やサービスを提供し、医師や看護師とともに、世界中の何十億もの人々の生活に日々関わっています。
130年近くの歴史を超えて、「我が信条 (Our Credo)」のもと、これからも一人ひとりに寄り添い、
皆さまの健康に貢献していきます。
“What is Caring?” そもそもケアとは何だろう。その問いを常に抱きながら。



What is Caring?



Caring is 笑顔

What is Caring?

一人ひとりに寄り添いながら、
たくさんの笑顔を支えたい。

子どもを気づかい、健やかな成長を願うお母さんの気持ち。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、いまも昔もその気持ちに寄り添い続けてます。創業以来、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上をめざし、安全性の高い良質な製品とサービスの提供に、全力で取り組んでいます。

はじまりは、人々を救った手術用の包帯

19世紀後半、膏薬の調剤を学んでいた創業者ロバート・ウッド・ジョンソンは、アメリカ南北戦争に大きな衝撃を受けました。多くの負傷兵が傷を治したにもかかわらず、細菌の感染で命を落としていたのです。ここを痛めた彼が考案したのが、最新の医学理論を取り入れ、空気中の細菌感染を防ぐ「殺菌済み外科用包帯」でした。そして、1886年に、2人の兄弟とともに「ジョンソン・エンド・ジョンソン」を創業しました。人々の尊い命を救い、健康を支えたい。創業者の想いは、いまも受け継がれています。



創業者 ロバート・ウッド・ジョンソン



ロバート・ウッド・ジョンソン Jr.

「我が信条 (Our Credo)」が、社員一人ひとりの行動規範

「企業は顧客、社員、地域社会、株主に対して責任を持たなければならない」。この経営哲学を基につくられ、ジョンソン・エンド・ジョンソンを絶えず適切な方向へと導いていくのが、コア・バリューである「我が信条 (Our Credo)」です。1943年にロバート・ウッド・ジョンソン Jr. が打ち出した「Try Reality」が原型となり、企業理念・倫理規定としてつくられました。自らを律する行動規範として社員一人ひとりに浸透しています。



「我が信条 (Our Credo)」は、49の言語に翻訳され、世界に広がるグループ各社に確実に受け継がれています。



caring
is 使命

What is Caring?

より良い医療に貢献する、
大切な役割を果たしたい。

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、近代医学の黎明期に誕生し、その歩みに合わせるように研究・開発に取り組み、絶えず革新的な製品を提供してきました。数多くの製品は、世界中の人々のクオリティ・オブ・ライフに貢献する重要な役割を担っています。「世界最大級のヘルスケアカンパニー」へと大きく成長した現在においても、社員一人ひとりが使命感を持ち、医療向上のために歩み続けています。

世界最大級のヘルスケアカンパニー

現在、世界60カ国に250以上のグループ企業を有するジョンソン・エンド・ジョンソン。消費者向け製品、医療機器、医薬品の分野で、数万アイテムにのぼる製品を提供し、「世界最大級のヘルスケアカンパニー」として成長しています。その根底にあるのが、研究・開発への惜しみない投資です。研究・開発費は総売上高の約12%を占め、すべての産業の中でもトップクラス。長期的視野に基づいた取り組みが、革新的な新製品を生む原動力となり、市場をリードし続けています。

成長を支える分社分権経営と多彩なブランド力

ジョンソン・エンド・ジョンソンの特徴的な経営スタイルのひとつが、「分社分権経営」です。ビジネスをマネジメントしやすいサイズに構成して権限を与えることにより、高度な専門化、環境変化への迅速な対応、革新的なイノベーションを実現しています。それは幅広い製品と多彩なブランドにも表れています。グループ各社が、分社分権経営によりプロフェッショナル集団になることで、他の追随を許さない成長を遂げ、同時に強固なブランドを築き上げています。





Caring
is 進化

What is Caring?

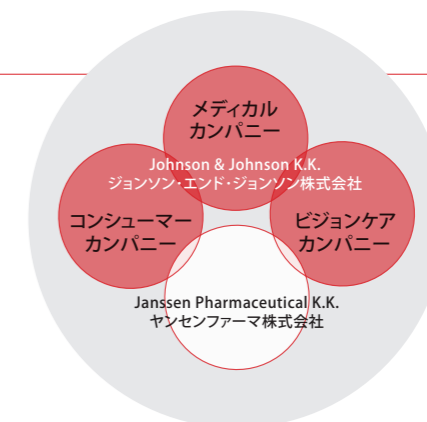
未来の健康を見つめ、
新たな価値を生み出したい。

ヘルスケアの現場で何が求められているか——。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、“満たされていないニーズ”に応えていくために、お客さまの声に耳を傾け、洞察力を磨き、研究・開発に取り組んでいます。常に人々の健康とヘルスケアの未来を見つめ、自在に変化を遂げながら、絶えず価値ある提案をし続けます。

日本における飛躍的な成長

現在、日本におけるジョンソン・エンド・ジョンソングループは、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とヤンセンファーマ株式会社に構成されています。ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社はコンシューマーカンパニー、メディカルカンパニー、ビジョンケアカンパニーの3カンパニーを擁し、数多くの製品でトップクラスのシェアを獲得しています。

Johnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN



顧客の声に的確に応える提案力

世界で使われている製品が、そのまま日本で通用するとは限りません。徹底した市場調査から、日本に合った製品にカスタマイズするなど、きめ細かな提案を行っています。たとえば超音波凝固切開装置「HARMONIC® HD 1000i」の開発にあたっては、世界的にも繊細で丁寧といわれる日本の外科医の意見を取り入れ、より機能的な形状と軽量化を追求しました。日本の顧客の声を反映させた製品により、世界中の外科手術のクオリティ向上に寄与することが期待できます。超音波凝固切開装置「HARMONIC ACE®+7」は、日本をはじめ世界中の顧客の声を反映しながら開発され、操作性が高く評価されています。



CONSUMER COMPANY

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 コンシューマーカンパニー

世界中の人々に愛されている多彩な製品が、信頼の証しです。

コンシューマーカンパニーは、常に消費者の目線に立ち、幅広いニーズに応える製品をお届けしています。たとえばバンドエイド®は、愛妻の台所仕事での切り傷を気づかした一社員のアイデアから生まれ、いまではロングセラー製品として世界中の人々に愛されています。一方で、新たな市場を開拓する新製品の開発にも力を注ぎ、人々の健やかで、活力に満ちあふれた暮らしを支えています。



【キズケア製品・フットケア製品】

バンドエイド® キズケア製品

強い粘着力と、傷口につきにくい特殊加工パッドで、キズをしっかり守る救急ばんそうこうをはじめ、医療現場で使われているハイドロコロイド素材を使用した、キズを早くきれいに治すばんそうこうなど、様々な種類のキズケア製品を提供しています。キズの種類や大きさ、使用シーンに合わせてお選びいただけます。

バンドエイド® フットケア製品

タコ・ウオノメ・マメ・靴ずれなどの足のトラブルに、保水性のある保護パッドが効果を発揮。皮膚呼吸を妨げずに水分を吸収、保持して圧迫や摩擦などによる痛みを抑え、まるでもう1枚の皮膚のように足を保護します。タコ・ウオノメの保護用、マメ・靴ずれブロック、外反母趾用。さらに、サリチル酸の働きで、硬く厚い皮膚を軟らかくするタコ・ウオノメ除去用もあります。



【赤ちゃん・子供のケア/大人のボディケア/綿棒】

ジョンソン®ベビー/ ジョンソン®ボディケア/ジョンソン®綿棒

ジョンソン®は、安心、低刺激、高品質のロングセラーブランドです。赤ちゃんから大人まで、ジョンソン®ベビー、ジョンソン®ボディケア製品を提供します。



LISTERINE

【マウスウォッシュ】

薬用リステリン®

薬用リステリン®は薬用効果が認められた医薬部外品のマウスウォッシュです。4つの有効成分が歯と歯ぐきの間など、ブラッシングでは届きにくいお口の隅々までいきわたり、様々なお口のトラブルの根源となる細菌のかたまり「バイオフィルム」に浸透して殺菌し、虫歯、歯肉炎、口臭を予防します。



リステリン®ウォータータブレット™

リステリン®独自のテクノロジーを採用し、ニオイの元にアプローチするタブレットタイプの噛むリステリン®です。持ち運べて外出先でもそのまま食べることができるので、いつでもどこでも、歯みがき後のような爽快感が続きます。

※シュガーレス、キシリトール配合



Neutrogena®

【ボディケア・ハンド・リップ】

Neutrogena® ノルウェーフォーミュラ

世界70カ国以上で愛されるグローバルスキンケアブランド ニュートロジナー。医療グレードの純度99%のグリセリンを高濃度で配合しているので、肌の角層の奥深くまで浸透し、内側からモイスチャーバリアを形成。乾燥や肌トラブルにも負けない肌をつくります。「インテンスリペア」と「ディープモイスチャー」の2つのシリーズからお肌の状態別にお選びいただけます。



【禁煙補助剤】

ニコレット®

ニコレット®シリーズは、タバコをやめたい人のための医薬品です。禁煙時のイライラ・集中困難などの症状を緩和し、無理のない禁煙に導きます。



アネトン

【鎮咳去痰薬・鼻炎用薬】

アネトン®

アネトン®シリーズには、せき・たんによく鎮咳去痰薬、鼻みず・鼻づまりによく鼻炎用薬があります。



TYLENOL

【解熱鎮痛薬】

タイレノール®

タイレノール®は米国最大のヘルスケアブランドのひとつで、現在46カ国で販売しています。胃壁を守る成分にほとんど影響しないため、頭痛を感じた際、空腹時を含め、いつでも(1日3回まで)服用できます。



バイシジ

【目薬】

バイシジ®

バイシジ®は充血を取る目薬として米国で誕生したアイケアブランドです。現在のバイシジ®シリーズは、目の症状に合わせて選べる幅広いラインアップで、充血をはじめ、疲れ目や目のかゆみなどに優れた効果を発揮します。



MEDICAL COMPANY

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー

医療現場の声に耳を傾け、先進の医療機器と解決策を提案します。

外科、内科をはじめ幅広い診療領域をカバーする医療機器、医療関連製品の輸入・製造販売を行うメディカルカンパニーでは、医師や看護師、技師といった医療従事者のパートナーとして、ワールドワイドに広がるジョンソン・エンド・ジョンソングループの優れた製品を提供しています。メディカルカンパニーは、医療機器における技術の提供を通して、人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献することをめざしています。

ETHICON

エチコン事業部

「創開鎖・創傷管理関連製品」

外科を中心に手術全般に使用する製品を幅広く提供しています。体内で吸収される抗菌縫合糸「PDSプラス®」「バクテリル プラス®」、主に心臓血管外科手術で用いられる「プロリン®」、皮膚用接着剤「ダーマボンド®アドバンスト」、ヘルニア修復用メッシュ「ウルトラプロ®ヘルニアシステム」、ポータブル持続吸引排液システム「J-VAC® サクシオンリザーバー」「Blake® シリコンドレイン」、吸収性癒着防止材「インターシード®」、(再生)酸化セルロース吸収性局所止血剤「サージセル®」などを国内外でご使用いただいています。



「低侵襲手術関連製品」

体の負担が少ない低侵襲手術関連製品を幅広く提供しています。主力製品である自動縫合器は、縫合系に替わり自動かつ均一な縫合が可能で、手技の発展に貢献しています。開腹・開胸手術用の自動縫合器EES LINEAR CUTTER、鏡視下手術用にも使用可能な自動縫合器Powered ECHELON FLEX®や自動吻合器ILSに加え、XCELトロッカーやクリップなど、豊富なラインアップをそろえています。



「エナジー関連製品」

電気を体に流さず、超音波振動を利用し、組織を切離・凝固するHARMONIC®、パイポラ電気メスの技術を採用し7mmまでの血管などの組織をシール可能なENSEAL®など、エナジー製品を提供しています。ジェネレーターGEN11は、1台でHARMONIC®、ENSEAL®の両方が使用可能です。様々な診療科における、鏡視下手術・開創手術用の幅広いデバイスのラインアップをそろえています。



●販売名:ハーモニック HD 1000i 承認番号:229008ZX00116000 ●PDSプラス 販売名:PDS プラス 承認番号:223008ZX00333000 ●バクテリル®プラス 販売名:バクテリル プラス 承認番号:220008ZX01652000 ●プロリン® 販売名:プロリン 承認番号:153008ZY01464000 ●ダーマボンド®アドバンスト 販売名:ダーマボンド アドバンスト 届出番号:1381X00204ME0008 ●ウルトラプロ®ヘルニアシステム 販売名:ウルトラプロヘルニアシステム 承認番号:221008ZX00839000 ●J-VAC® サクシオンリザーバー 販売名:J-VAC サクシオンリザーバー 届出番号:1381X00204ME0009 ●Blake®シリコンドレイン 販売名:Blakeシリコンドレイン 承認番号:218AD8ZX00039000 ●インターシード® 販売名:インターシード 承認番号:203008ZY01058000 ●サージセル® 販売名:サージセル・アブソルバブル・ヘモスタット 医薬品承認番号:14700AMY00205000 ●EES リニヤー カッター 販売名:EES リニヤー カッター スティープラー 承認番号:223AABZX00075000 ●EES リニヤー カッター セレクタブルカートリッジ 販売名:EES リニヤー カッター セレクタブルカートリッジ 承認番号:223008ZX00355000 ●Powered ECHELON FLEX 販売名:エンドスコピック パワード リニヤー カッター 承認番号:225008ZX00396000 ●ILS 販売名:プロキシメイト ILS 承認番号:219008ZX00879000 ●XCEL 販売名:エンドパス トロッカーシステム 承認番号:219008ZX00882000 ●販売名:ハーモニック ACE プラス 承認番号:226008ZX00425000 ●ハーモニック ACE プラス 7 販売名:ハーモニック ACE プラス 7 承認番号:228008ZX00042000 ●ハーモニック カーブシアーズ 販売名:ハーモニック スカルベル インストルメント 承認番号:208008ZY00533000 ●ハーモニック スカルベルII 販売名:ハーモニック スカルベル II 承認番号:213008ZY00662000 ●ハーモニック SYNERGY 販売名:ハーモニック SYNERGY 承認番号:223008ZX00194000 ●ハーモニック ブルーハンドピース 販売名:ハーモニック ブルーハンドピース 承認番号:221008ZX00831000 ●ハーモニック FOCUS プラス 販売名:ハーモニック FOCUS プラス 承認番号:227008ZX00411000 ●販売名:エンシール G2 ティッシュシーラー 承認番号:225008ZX00547000 ●エンシール 販売名:サージレックス エンシールシステム 承認番号:218008ZY10087000 ●GEN11 販売名:EESジェネレーター 承認番号:225008ZX00119000 以上、製造販売元:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

プロフェッショナルエデュケーション

【メディカルイノベーション
インスティテュートオブテクノロジー
(MIT研究センター)/東京サイエンスセンター】

医療従事者のパートナーとして

医療機器の高度化・複雑化が進み、患者さんの負担が少ない治療への社会的ニーズも高まる中で、医療従事者には常に医療機器の操作技術向上が求められています。130年以上にわたり、医療従事者向けのプロフェッショナルエデュケーションを提供してきたジョンソン・エンド・ジョンソンは、2017年に「ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート」を発足。これにより、世界各国で運営する24のプロフェッショナル・エデュケーション施設とオンライン・エデュケーションネットワーク等が統合されました。ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュートは、学習内容やその形態、受講場所やスケジュールなど、医療従事者の多様なニーズにきめ細かく対応したさまざまなエデュケーション・プログラムを提供していきます。日本国内では、1992年に福島県須賀川市に「ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート(須賀川)」を設立。内視鏡外科手術をはじめとする先進医療機器のトレーニング施設として、2017年末までに述べ7万5千名以上の医療関係者にご利用いただいています。また、2014年には、神奈川県川崎市にジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート(東京サイエンスセンター)を設立。羽田空港に近く、国際戦略総合特区・国家戦略特区でもあるキングスカイフロントを拠点として、国内外から幅広い診療科の医療従事者が訪れています。さらに2018年3月からは大阪市中央区(弊社大阪支店内)の施設を加えた3施設を、ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュートとして運営しています。各施設には高度な医療機器を設置し、病院の手術室や検査室を再現した環境で医療機器の操作を習得する実践的なトレーニングが行われています。ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュートはこうしたトレーニングの提供を通して、医療機器の適正な使用を推進し、患者さんが高度な医療をより安全に受けられるように支援を続けています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュートの国内施設(3箇所)



須賀川



東京サイエンスセンター



大阪



MEDICAL COMPANY

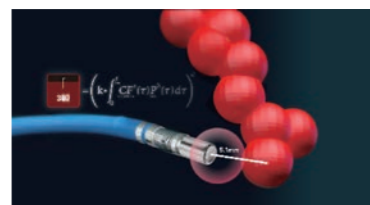
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー



【不整脈診断治療支援システム】

バイオセンスウェブスター事業部

心臓疾患のうち脳梗塞の原因としても知られている心房細動など頻脈性不整脈治療“カテーテルアブレーション療法”で診断・治療に使用する製品を取り扱っています。心臓の中でカテーテルを使用して、不整脈の診断ができる3Dマッピングシステム「CARTO® 3 System」や、リアルタイムで位置情報をモニターできる磁気センサー付き超音波カテーテル「SOUNDSTAR® eco Catheter」、カテーテル先端と心筋が接触したことによるコンタクトフォースの測定を行う「THERMOCOOL SMARTTOUCH® SF Catheter」、アブレーション治療の定量化を行い、どの病院でも同じ質の治療を目指す「Ablation Index」などの製品を通じて、患者さんの不整脈治療の向上に貢献しています。



Trauma

【整形外科用医療機器(骨接合材料)】

トラウマ & ジョイントリコンストラクション事業部

整形外科領域における主に四肢(手、腕、足)、骨盤の骨折治療に用いられる医療機器を提供しています。取り扱う骨折治療材料は、骨折治療を研究する世界的な外科医のグループと連携して開発されており、様々な骨折に対応できるように主にチタン製のプレートやスクリュー、髄内釘、創外固定器などを用意しています。これら優れた製品をいち早く日本に導入することはもちろんのこと、日本の患者さんの体格に合わせた骨折治療材料の開発提案を積極的に行うことで、日本の外科医のニーズや患者さんの早期機能回復に貢献しています。



Joint Reconstruction

【整形外科用医療機器(人工関節)】

トラウマ & ジョイントリコンストラクション事業部 変形性関節症・関節リウマチなどの疾患に対して、人工股関節・人工膝関節を中心に整形外科向け医療機器を提供しています。関節の痛みを取り、同時に患者さんのADL (Activity of Daily Life) の向上を図れるよう、新製品の導入も積極的に行っています。近年では日本人の骨格形態データに基づき、日本市場向けの製品を開発するなど、それぞれの患者さんのニーズに合わせた製品の提供を追求しています。



Spine

【整形外科用医療機器(脊椎脊髄領域)】

スペイン事業部

「せぼね」と呼ばれている「脊椎」は、体幹の支持や可動、脊髄や神経の保護など、体にとって非常に重要な役割を担っています。椎間板ヘルニアなどの病状や交通事故などの外傷への手術治療に用いる脊椎固定用インプラントや手術器械を供給することで、脊椎疾患の患者さんの悩みに応えています。脊椎脊髄外科領域のリーディングカンパニーとして、より良い製品の開発・供給とともに、手術手技の低侵襲化、新たな治療材料の開発提案を積極的にも取り組んでいます。



MITEK SPORTS MEDICINE

【整形外科用医療機器(スポーツ整形領域)】

マイテックススポーツメディスン事業部

反復性肩関節脱臼、腱板断裂修復術などに用いるスーチャーアンカーを世界で初めて発売。国内においても最初に生体内吸収性の製品を導入し、金属製、PEEK製を含め、手指・肘・股・膝・足関節の靭帯等修復術に対応する多様なラインアップをそろえています。



CMF

【頭蓋顎顔面用医療機器】

CMF

「あたま」と「かお」は脳、目、鼻、口、耳、などの大切な機能を有している特別な部位です。また、社会生活を送る上でも感情や表情、印象などを与える特徴的な側面も併せ持ちます。頭蓋顎顔面外科医と共に「あたま」と「かお」における先天異常や外傷、腫瘍切除後の再建などに用いる骨固定用インプラントを開発供給し、患者様にとってより良い機能と審美が得られるよう取り組んでいます。



VET

【動物用医療機器(骨接合材料)】

Vet グループ

動物専用の整形外科医療機器を提供しております。対象は小動物から大動物となり、骨折に用いるプレートや前十字靭帯断裂に対するTPOシステムなど様々なラインナップを通じて獣医療の向上に貢献しています。



Power Tools

【骨手術用医療機器】

パワーツールグループ

骨手術において必要とされる、穿孔用「ドリリング」、孔拡大用「リーミング」、骨切り用「カッティング」の機能を有する器械を提供しています。脳神経外科の領域で使用されるハイスピードドリルや整形外科・顎顔面の領域で使用されるスモール/ラージドリル等、プロダクトポートフォリオが充実していますので幅広い手術に対応可能です。また人間工学に基づいた設計や新技術を採用することで、手術において安全に使用できるよう貢献します。



【脳神経外科・血管内治療用医療機器】

セレノバス事業部

脳血管障害の治療に使用される塞栓用コイルや、国内で最初の頭蓋内ステント、急性期虚血性脳梗塞の血栓除去デバイスを取り扱っています。事業部名の「セレノバス」は、ラテン語の「脳 (CERE)」と「新しい (NOVUS)」に由来します。虚血そして出血性脳卒中ケア領域におけるアンメットニーズに応えられる画期的なソリューションの提供を通じて、脳卒中の軌跡を変え、脳卒中治療をさらに加速させることを使命としています。



●販売名: バイオセンスCARTO3 承認番号: 222008ZX00741000 ●販売名: サウンドスターSH 承認番号: 224008ZX00068000 ●販売名: サーモクール スマートタッチ SF 承認番号: 228008ZX00244000 ●販売名: TFNAプロキシマルフェニルネイルシステム 承認番号: 227008ZX00142000 ●販売名: Corail AMTシステム 承認番号: 224008ZX00015000 ●販売名: ビナクル Porocoat 承認番号: 222008ZX00790000 ●販売名: BIOLLOX deltaセラミックヘッド (CERAMAX) 承認番号: 222008ZX00971000 ●販売名: BIOLLOX deltaセラミックヘッド (CERAMAX) 承認番号: 222008ZX00971000 ●販売名: ビナクル マラソンポリライナー 承認番号: 221008ZX01026000 ●販売名: ATTUNE CR FIXED人工膝関節システム 承認番号: 224008ZX00148000 ●販売名: MOSS MIAMI Expedium システム 承認番号: 218008ZY10033000 ●販売名: TRUESPAN PEEK Meniscal Repair システム 承認番号: 229008ZX00327000
以上、製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

●販売名: RapidSorbシステム 承認番号: 226008ZX00549000 ●販売名: Colibri システム 認証番号: 225AABZX00168000 ●販売名: デビューンセス 動物用骨接合インプラントセット ●販売名: デビューンセス 動物用骨接合インプラントセットII ●販売名: セレノバス マイクラスコイル MDC 承認番号: 220008ZX00973000 ●販売名: コッドマン エンタープライズ VRD 承認番号: 222008ZX00078000 以上、製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社



Johnson & Johnson Vision

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー
 エイムオー・ジャパン株式会社

「目の健康」を守るリーディングカンパニーとして、
 人々の「クオリティ・オブ・ビジョン」の向上に貢献します。

ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンでは、幼少期から老年期まであらゆる世代の「目の健康」を守る取り組みに注力しています。

コンタクトレンズ事業においては、日本初の使い捨てコンタクトレンズ「アキュビュー®」を1991年に導入して以降、遠近両用コンタクトレンズや、デジタル機器の使用や空調による低湿度といった目にとって過酷な環境下でも快適な視界を確保する高付加価値コンタクトレンズを開発してきました。

また、2017年にはアボット・メディカル・オプティクス社もジョンソン・エンド・ジョンソンの一員に加わり、眼科手術事業へも事業領域を拡大しました。

これからも「目の健康」を第一に考え、様々なニーズに対応する新製品の開発や改良に取り組んでいきます。



2015年10月1日、コンタクトレンズユーザーの「目の健康」を考えたコンセプトストア「アキュビュー® ストア表参道」をオープンしました。

コンタクトレンズ事業

「アキュビュー®」は、目の健康を一番に考え、「汚れが蓄積する前に新しいレンズに交換することが、もっとも衛生的なコンタクトレンズの使い方」という発想でつくられたコンタクトレンズです。現在日本国内では、近視・遠視・乱視・老視などの様々な視力補正ニーズに対応する10種類の多彩な製品をラインナップしています。

ワンデーアキュビュー® オアシス® アキュビュー® オアシス®

別格のつけ心地*1
 アキュビュー® オアシス® シリーズ

涙のようなレンズ*2が、涙と一緒に目を一日中なめらかに包み込むのでまるで何もつけていないよう。夜になっても目の乾きや疲れを感じない、別格のつけ心地*1のコンタクトレンズです。



販売名:ワンデーアキュビュー オアシス/アキュビュー オアシス
 承認番号:22800BZX00049000/21800BZY10252000

ワンデーアキュビュー® モイスト® マルチフォーカル

近くも遠くも自然に見やすい
 ワンデーアキュビュー® モイスト® マルチフォーカル
 遠近両用コンタクトレンズ

年齢によって大きさが変わる瞳孔径に着目。171種類からぴったりのレンズが選べるので、近くも遠くも自然に見やすくなります。保湿成分配合で快適なつけ心地が続く、遠近両用コンタクトレンズです。



販売名:ワンデーアキュビュー モイスト
 承認番号:21600BZY00408000

ワンデーアキュビュー® ディファイン® モイスト®

至近距離でも自然で美しい
 アキュビュー® ディファイン® シリーズ

瞳の模様(虹彩模様)をもとにしたデザインで、瞳になじみやすく、自然に大きく見せながら、瞳本来の美しさをいかします。



販売名:ワンデーアキュビュー ディファイン モイスト
 承認番号:22300BZX00126000 (功能・効果:視力補正、虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること)

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず事前に眼科医にご相談の上、検査・処方を受けてお求めください。

◎ご使用前に必ず添付文書をよく読み、取扱方法を守り、正しく使用してください。

※1 自社製品内比較。※2 涙を保持する働きを持つ。※装着感には個人差があります。※保湿:レンズに持続的に閉じ込められた保湿成分が、涙などの水分を保持(保水)します。

眼科手術事業

白内障手術:総合的な眼内レンズおよび白内障手術システム製品ポートフォリオで、世界全体で失明の主な原因の1つである白内障を治療する医師を支援します。

レーザー視力矯正:LASIKテクノロジーの主要プロバイダーとして、人々がさまざまな活動に集中する自由を実現します。

WHITESTAR SIGNATURE PRO

ペリスタルティックポンプとベンチュリポンプの2つのポンプシステムを術中に切り替えて使用することができるオンデマンドフルイデックスにより、術者の手術手技に合わせた安全で効率的な白内障手術を提供します。

販売名:ホワイトスターシグネチャー
 医療機器承認番号:22100BZX00564000



TECNIS Symphony® Extended Range of Vision IOLs OptiBlue

独自のエシェレット回折デザインとアクロマティックテクノロジーにより焦点深度を拡張し、遠方から近方まで広い明視域で自然な見え方を提供します。

販売名:テクニスシンフォニーVB
 医療機器承認番号:22900BZX00005000





Janssen Pharmaceutical K.K.

ヤンセンファーマ株式会社

6つの疾患領域で、「いまだ満たされない医療ニーズ」に応えます。

ヤンセンは、ジョンソン・エンド・ジョンソングループの医療用医薬品部門として、世界150カ国以上に、約4万人の社員を擁し、がん、免疫疾患、精神・神経疾患、感染症・ワクチン、代謝・循環器疾患、肺高血圧症の6つの領域で、「いまだ満たされない医療ニーズ」への対応と解決に力を注いでいます。

ヤンセンは、1953年に“ヤンセンファーマシューティカ社”として故ポール・ヤンセン博士によって創設され、1961年に世界進出をめざして、ジョンソン・エンド・ジョンソングループの一員となりました。日本法人であるヤンセンファーマ株式会社（以下、ヤンセンファーマ）は1978年にヤンセン協和株式会社として発足し、2002年に現在の社名に変更しました。日本では6つの疾患領域のうち、主にがん、免疫疾患、精神・神経疾患領域において継続的に研究開発を行っています。日本においてヤンセンファーマは成長著しい製薬企業のひとつとして、治療が困難な疾患などに苦しむ患者さんとそのご家族に薬を1日も早くお届けするために、力を合わせて取り組んでいます。



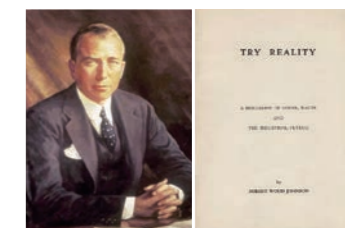
Living Our Credo

すべてのビジネスに、「我が信条 (Our Credo)」が息づいています。

ジョンソン・エンド・ジョンソンのグループ各社に共通する理念は、「我が信条 (Our Credo)」に集約されています。「顧客」「社員」「地域社会」「株主」に対する企業の社会的な責任を表明する先駆的な企業理念として策定され、70年以上にわたって受け継がれてきました。いまでも、すべての事業活動を支える指針になっています。

1935 ● 大恐慌の中で生まれたメッセージ「Try Reality」

大恐慌の時代、最高経営責任者ロバート・ウッド・ジョンソン Jr. は、企業が社会を積極的に支える取り組みが必要と考え、全米のリーダー的ビジネスパーソンに「Try Reality」と題するメッセージを送りました。「過去数年間の苦しみの中で、人々は本物の経済的貢献と社会的価値を生み出す企業のみが成功する権利を持つということを知り、それを確信してしまった。恒常的な成功は、より高尚な経営哲学を遵守していくことによるのみ可能になる」と呼びかけ、賃金・勤務時間・税制の改革を訴えました。



ロバート・ウッド・ジョンソン Jr. が提唱した「Try Reality」

1943 ● 企業の社会的責任を示す「我が信条 (Our Credo)」を起草

ロバート・ウッド・ジョンソン Jr. は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの株式上市に際し、「Try Reality」を原型とする「我が信条 (Our Credo)」を起草しました。取締役会で発表したとき、彼は「顧客第一で考え行動し、残りの責任をこの順序どおり果たしてゆけば、株主への責任は自ずと果たせる」と語り、「これに賛同できない人は他社で働いてくれて構わない」と主張。経営者の強い意志のもと、時代に先駆け、多くのステークホルダーに対する社会的責任を意識した企業理念を確立しました。



1948年当時の「我が信条 (Our Credo)」のデザイン

1975 ● 第1回クレド・チャレンジ ミーティング開催

「我が信条 (Our Credo)」は、次世代にも引き継がれました。1975年は、海外での不正支出の問題がいくつか発覚したことにより、米国に本社を置く企業の間でビジネス倫理や商習慣の問題が注目を浴びた時代です。その中で、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、「我が信条 (Our Credo)」の価値を見直すべく、第1回クレド・チャレンジ ミーティングを開催。2日間にわたって経営陣による熱い討論が繰り広げられ、より時代に即した内容や表現に見直され、その後も議論が重ねられました。



1975年に開かれたクレド・チャレンジミーティング

2018 ● 「我が信条」起草75周年、経営陣全員が署名

2018年、マネジメント・ミーティングにおいて改訂された「我が信条 (Our Credo)」が発表され、経営陣全員が支持する原則となりました。そして起草75周年を迎えた2018年、米国本社で経営層が「我が信条 (Our Credo)」を支持することを改めて誓い、決意を新たに全員が署名を行いました。「我が信条 (Our Credo)」は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの企業理念として、時代の変化に合わせてながら受け継がれ、社員一人ひとりに浸透しています。



クレド・チャレンジミーティング

子どもの健やかな成長は、 ジョンソン・エンド・ジョンソンの願いです。

子どもは、私たちの将来を担う大切な存在です。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、子どもの健やかな成長は社会全体の責任と捉え、その可能性をしっかりと支えたいと考えています。「ヘルスケア」を軸に、子どもたちが医療の正しい知識を得る機会の提供、手術体験セミナーの開催、社会参画へのお手伝いなど、様々な取り組みを行っています。



carining
is 未来

キッズニア東京「病院」パビリオン

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、エデュテインメント・タウン「キッズニア東京 (KidZania Tokyo)」のスポンサーとして「病院」パビリオンを出展しています。健康や医療に対する正しい理解や興味を促し、命や体の大切さを知る場を提供することにより、未来を担う子どもたちをサポートしています。



いけまぜアトリエ

「いけまぜアトリエ」(NPO法人にわとりクラブによる活動)は障がいのある子どもたちが描いた絵を通じて、まわりの人や社会がその能力に気づき、社会に貢献できる存在であることを知ってもらうために、様々な活動を行っています。この活動をジョンソン・エンド・ジョンソンは応援し、子どもたちの社会参加に貢献しています。



ブラック・ジャック セミナー(手術体験セミナー)

次代を担うたくさん子どもたちに医療や医師の仕事への興味を抱いてほしいという想いから、2005年より、実際に治療現場で使用される医療機器を用いた手術体験セミナーを全国の医療機関と共同開催。現在は「ブラック・ジャック セミナー」の名称で親しまれています。



©Tezuka Productions

多様性を活かし、社員一人ひとりの創造力を高めます。

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、「我が信条(Our Credo)」のもと、ダイバーシティ&インクルージョンを重要経営課題と位置づけています。性別、年齢、民族性、国籍、障がい、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー)といった性的指向に関わらず、多様なバックグラウンドを持つ人材の多様な発想を活かすことが、イノベーションにつながるからです。革新的なソリューションを提供し、世界中の人々の更なる健康と幸せに貢献することを目指しています。

多様性を受け入れる職場づくり

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、ダイバーシティ&インクルージョンを推進するため、無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)に関するトレーニングやワークショップをはじめ、画一的な働き方から脱却し、多様性が受け入れられる職場環境づくりに力を入れています。柔軟性の高い働き方を支援する様々な制度を用意しているほか、社員有志による「WLI」、「Open&Out」といった活動を支援しています。

多様な働き方・ワークライフバランスの支援

社員一人ひとりが自分の理想的な働き方を追求することが社員のエンゲージメントを高め、「我が信条(Our Credo)」の実現およびトータルヘルスケア企業としての貢献につながります。ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、「生産性・効率性の向上」、「健康増進」、「多様な働き方」を軸として、様々な活動に全社員で取り組んでいます。

【主な取組事例・制度】

- 裁量・みなし労働、フレックスタイム勤務制度
- 在宅勤務制度
- 多様な有給休暇制度(特別育児休暇:5日/年、ボランティア休暇:2日/年、リフレッシュ休暇:3日/年、子の看護休暇:5日/年、介護休暇:5日/年、ドナー休暇:8日/回など)
- 育休開始後8週間の所得保障制度
- 育休中の一部業務実施制度
- 産後職場復帰後の業務軽減措置・短時間労働
- チャイルドケア支援金(30万円×7年)
- ベビーシッターの法人契約
- 働きやすさを追求したドレスコード(ジーンズやスニーカーを含む)
- マッサージルーム開設
- オフィスのフリーアドレス化
- 全世界の社員を対象としたウォーキングイベント
- 心身の健康向上のためのワークショップ など

Women's Leadership&Inclusion (WLI)

「WLI」は、会社と女性双方で責任を分かち合う(Shared Responsibility)という考えのもと、1995年に米国ではじまった女性のリーダーシップ推進活動です。日本では2005年に活動がスタートしました。意識改革と文化醸成のためのワーク



ショップやイベントを定期的実施するなど、女性が高いパフォーマンスを発揮できる環境づくりに取り組んでいます。

Open&Out

「Open&Out」はLGBTに関する理解促進と、ダイバーシティ&インクルージョン文化の醸成に関する活動を行うグループです。LGBTの社員に対して社内コミュニティを提供するほか、LGBTに関する問題と知識に関しての意識醸成や啓発活動などを行っています。活動は社内に留まらず、社外のLGBT支援団体との協力や、啓発イベントへの参画を通して、誰もが自分らしくいることができる社会の実現を目指しています。



多様な考え方や価値観を尊重する「揺るぎない組織」を目指して

ダイバーシティ&インクルージョンを推進するためには、多様な社員からなる組織を作り上げるだけでなく、多様な考え方や価値観を持ったすべての社員が個人として尊重され、互いに理解し合える文化を作ることが大切だと考えています。その観点から、社員一人ひとりが自分らしく能力を最大限に発揮できるような、柔軟性の高い心地よい働き方を応援するための革新的な取り組みを、会社の経営戦略として強化しています。

良き企業市民として、より良い社会づくりに貢献します。

世界共通の企業理念である「我が信条(Our Credo)」の「地域社会への責任」に基づき、日本で事業展開するジョンソン・エンド・ジョンソンのグループ会社全体(ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ)の取り組みとして、からだやこころ、社会の健康をテーマに社会貢献活動を行っています。長期的な視点を持って活動する非営利団体(NPOなど)への経済的な支援と共に、社員ひとりひとりが「よき市民」として、ボランティア活動に積極的に参画していくことを奨励。「できる人が できるときに できることを」をモットーに、社員による自主グループの「JAPAN COMMUNITY IMPACT(JCI)」がその活動の中心を担い、各種NPOなど地域に密着したパートナーと協働しています。また、災害支援の歴史は古く、1906年のサンフランシスコ地震にまで遡り、現在も世界各地で災害支援活動を行っています。

JAPAN COMMUNITY IMPACT

グループ有志社員で運営するJCIでは、非営利団体への企業寄付を行うだけでなく、社員貢献があたりまえの文化を目指し、文化醸成および地域に密着したパートナーとの協働で、年間約130のプログラムを企画、実施しています。企業寄付については「子ども」「女性」「被災地の人々」の健康を優先的支援領域とし、長期的な視点での支援を通じて健康に関する様々な社会課題の改善を目指します。



Donate a Photo

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、スマートフォンを使って誰もが参加できる支援活動「Donate a Photo」を行っています。これは写真を1枚シェアする度に、ジョンソン・エンド・ジョンソンが非営利団体に1ドルを寄付するというもので、数ある支援先から、特に子ども・女性・東日本大震災からの復興や緊急的支援が必要と思われるプログラムを選んで支援をしています。

どなたでも参加できますので、是非ご参加ください。



http://www.donateaphoto.com/ja_jp

災害支援

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、1906年のサンフランシスコ地震から現在に至るまで、世界各地の災害に対して迅速なサポートを実施しています。義援金の提供のみならず、各団体と協力し、医薬品や医療用品、衛生用品などの提供、また、救助・救援活動の支援を行っています。



【主な支援】

- 2018年
 - ・平成30年北海道胆振東部地震被災者への支援
 - ・平成30年7月豪雨被災者への支援
- 2017年
 - ・日本初の民間主導による緊急災害対応アライアンス「SEMA」に加盟
 - ・九州北部大雨災害の義援金
 - ・ハリケーンハービー・イルマ・マリアで被災した子どもたち・被災者への支援
- 2015年
 - ・熊本地震の被災者への支援
 - ・TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム実施
 - ・ネパール大地震の被災者への支援

TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム

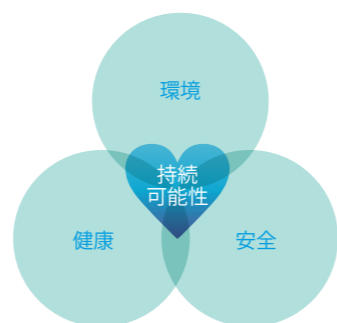
看護学生の災害対策分野での専門知識の深化と次世代を担うリーダーシップ育成を目的に、2015年より、「TOMODACHI



J&J災害看護研修プログラム」を支援。卒業生は、進学や医療現場への就職など、それぞれが現在置かれている立場において、プログラムでの学びを活かし、地域社会へ貢献しています。

<https://www.jnj.co.jp/our-societal-impact/tomodachi>

ヘルスケアを事業とする私たちは
環境、健康、安全向上の取り組みを
大切に、持続可能な事業と
社会の実現に向けて
さまざまな活動を実施しています。



社員の力で推進されるプログラム

環境、健康、安全は、担当者だけでなく、社員一人ひとりが実践することで成し遂げられます。環境においては、WeSustain というチームで、環境に強い想いを持つ社員が集まり日本においての課題や解決策を検討し、健康・安全面では安全衛生委員会において衛生管理者や社員代表が意見を上げ、施策を展開する仕組みを通じて、よりよい職場を作る活動を継続しています。



安全文化向上への取り組み

安全では従業員一人ひとりがリーダーであるという考えのもとに、安全を意識し、実践するためのプログラムを導入しています。お互いの安全を守るために、積極的に気づいたことを口にしておくことで、自分と他者を思いやり事故を未然に防ぐ職場文化を作っています。



安全運転プログラム「SAFE Fleet」

私たちは、世界で最も健康で安全な職場環境をつくることを目指しています。すべての従業員と家族を交通事故から守るために、世界中で安全運転活動(SAFE Fleet)に取り組んでいます。日本では、運転レベルに合わせた実技訓練、事故原因と問題解決のワークショップ、表彰制度、全社啓発活動、最新機器や機能を搭載した車両等を提供しています。運転者本人はもちろん、運転者の上司、部門長やトップマネジメント、車を運転しない間接部門の従業員も本活動に参画し、安全運転の文化を醸成しています。



健康増進

Healthiest Workforce (世界で最も健康的な従業員)の実現に向けて、従業員と家族の「からだ」と「こころ」の両側面から支援しています。

○エナジーフォーパフォーマンス (Energy for Performance)

自分自身のエネルギーを高めることでパフォーマンスを上げ、働きがいの実感にもつなげようとして全世界で展開しているJ&J独自のプログラムです。個人が成し遂げたい人生のミッションを明確にし、さらに食事や運動などを通じて戦略的にエネルギーを拡大していきます。

J&J独自の健康管理アプリHealthy & Me Appの利用を促進し、健康的なライフスタイルの習慣化も併せて推奨しています。また、健康増進のために職場環境の改善にも取り組んでおり、エナジーブレイク(小休憩中の間食や運動)の導入、バナナの無償提供、マッサージルームの利用促進等を行っています。

○EAP(従業員支援サービス)

社内産業保健スタッフによる面談だけでなく、社員とその家族のこころの支援として外部機関のカウンセラーも面接を実施しています。仕事やキャリア、プライベートの相談にも利用していただき、働きがいや生きがいを得ることができるよう支援しています。



○所定労働時間内禁煙ポリシー

ヘルスケアリーディングカンパニーとして、また業務のパフォーマンス向上のために、禁煙が職場文化として定着するよう取り組みを行っています。2007年から職場禁煙を実施し、2019年から従業員全員を対象に、所定労働時間内(昼休みを含む)は禁煙というポリシーを導入しました。喫煙者に対する禁煙支援プログラムも提供しています。



環境の取り組み

温暖化への対応(須賀川事業所)

地球温暖化対策として、二酸化炭素の排出量削減の取り組みを継続しています。旧式設備の更新、大型ガスプラントの廃止をはじめ、太陽光発電設備を導入するなど、各部門で地道に節電への取り組みを行っています。



地域環境美化運動の実施

1998年から毎年(2011年を除く)、地域の環境美化運動を実施し、地域の方々や社員の家族と一緒に事業所周辺のゴミ拾いなどの清掃活動を行っています。



廃棄物の削減(廃棄物から有価物へ)

廃棄物のリサイクル化を推進し、産業廃棄物のみならず一般廃棄物を含め全廃棄物の約9割をリサイクルしています。また、一部の廃棄物は処理するのではなく、有価物として売却する仕組みを導入し、継続的に廃棄物の削減に取り組んでいます。

我が信条

我々の第一の責任は、我々の製品およびサービスを使用してくれる患者、医師、看護師、そして母親、父親をはじめとする、すべての顧客に対するものであると確信する。顧客一人ひとりのニーズに応えるにあたり、我々の行なうすべての活動は質的に高い水準のものでなければならない。我々は価値を提供し、製品原価を引き下げ、適正な価格を維持するよう常に努力しなければならない。顧客からの注文には、迅速、かつ正確に応えなければならない。我々のビジネスパートナーには、適正な利益をあげる機会を提供しなければならない。

我々の第二の責任は、世界中で共に働く全社員に対するものである。社員一人ひとりが個人として尊重され、受け入れられる職場環境を提供しなければならない。社員の多様性と尊厳が尊重され、その価値が認められなければならない。社員は安心して仕事に従事できなければならない、仕事を通して目的意識と達成感を得られなければならない。待遇は公正かつ適切でなければならない、働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。社員の健康と幸福を支援し、社員が家族に対する責任および個人としての責任を果たすことができるよう、配慮しなければならない。社員の提案、苦情が自由にできる環境でなければならない。能力のある人々には、雇用、能力開発および昇進の機会が平等に与えられなければならない。我々は卓越した能力を持つリーダーを任命しなければならない。そして、その行動は公正、かつ道義にかなったものでなければならない。

我々の第三の責任は、我々が生活し、働いている地域社会、更には全世界の共同社会に対するものである。世界中のより多くの場所で、ヘルスケアを身近で充実したものにし、人々がより健康でいられるよう支援しなければならない。我々は良き市民として、有益な社会事業および福祉に貢献し、健康の増進、教育の改善に寄与し、適切な租税を負担しなければならない。我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。

我々の第四の、そして最後の責任は、会社の株主に対するものである。事業は健全な利益を生まなければならない。我々は新しい考えを試みなければならない。研究開発は継続され、革新的な企画は開発され、将来に向けた投資がなされ、失敗は償わなければならない。新しい設備を購入し、新しい施設を整備し、新しい製品を市場に導入しなければならない。逆境の時に備えて蓄積を行なわなければならない。これらすべての原則が実行されてはじめて、株主は正当な報酬を享受することができるものと確信する。

Johnson + Johnson